

令和 7 年度「文化行政調査研究」

文化芸術の経済的・社会的影響の 数値評価に向けた調査研究

【概要】

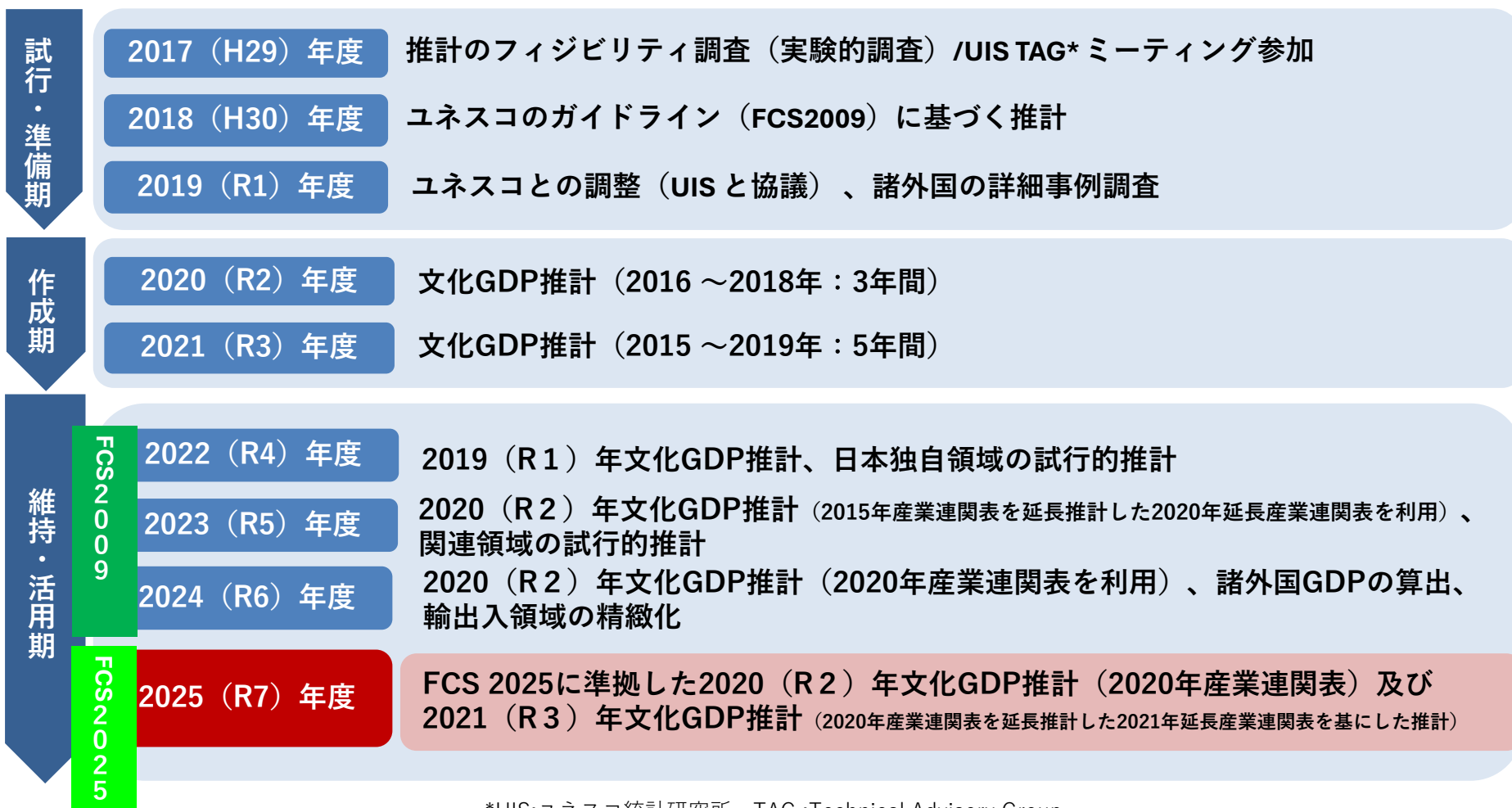
目 次

1. 推計の経緯と現在位置
2. 日本の文化GDP推計の方法
3. 2025年度に実施した推計の対象年度
4. FCS2025の改訂による構成の変更と推計対象
5. 日本の2020年文化GDP推計（FCS2025準拠）
6. 日本の2021年文化GDP推計（FCS2025準拠）

1

推計の経緯と現在位置

我が国の文化GDP推計は、ユネスコのFCS（Framework for Cultural Statistics、文化を定義・測定し、比較するための国際基準）に準拠し、文化関連産業の付加価値を推計することにより、文化の経済に対するインパクトの可視化（数値化）を図ろうとする取組み。



*UIS:ユネスコ統計研究所、TAG :Technical Advisory Group

注：我が国の文化GDP推計は公表された最新の産業連関表を用いて行うためその公表時期に応じて数年の時差が生じる。

2

日本の文化GDP推計の方法

(報告書13P)

1. 文化商品の抽出と文化産業の特定

- ・ ユネスコが提示するガイドライン（国連が作成している商品分類・産業分類）を参照し、推計対象を設定。

2. 文化商品の生産額推計と産業への割り当て

- ・ ユネスコが提示するガイドラインに合わせて、我が国の産業分類を再整理する。
- ・ なおかつ、既存の経済統計を利用して、生産額を推計する。

3. 付加価値の推計

- ・ 産業連関表（及び延長産業連関表）を用いて文化商品を生産する産業の付加価値（文化GDP）を推計する。

産業統計等から抽出

産業連関表から抽出

$$\text{国内生産額} \times \text{付加価値率} = \text{付加価値（文化GDP）}$$

3

2025年度に実施した推計の対象年度

- 各年度の文化GDP推計は、その時点で公表されている最新のFCS、産業連関表（5年毎改訂）・延長産業連関表を基に実施している。
- FCS2009からFCS2025の改訂により、文化GDP推計の対象となる領域に変更あり。（変更内容については次頁以降参照）
- これを受け、2025年度は、最新の産業連関表の対象年である2020年分（2024年度はFCS2009に基づき推計）について、FCS2025に基づく再推計を行うとともに、2021年分の推計を新たに実施。

推計を実施した年度	2023年度以前	2024年度	2025年度	
推計の対象とした年度	2015～2020年	2020年	2020年	2021年
準拠FCS	FCS2009	FCS2009	FCS2025 (2025年公表)	
産業連関表	2015年版 (2019年公表)	2020年版 (2024年公表)	2020年版	
延長産業連関表	2016～2020年版	—	—	2021年版 (※)

- 2023年度以前と2024年度以降では依拠している産業連関表が異なり、2024年度と2025年度では依拠しているFCSが異なるため、これらの期間を通じた時系列的な比較が困難であることに注意。

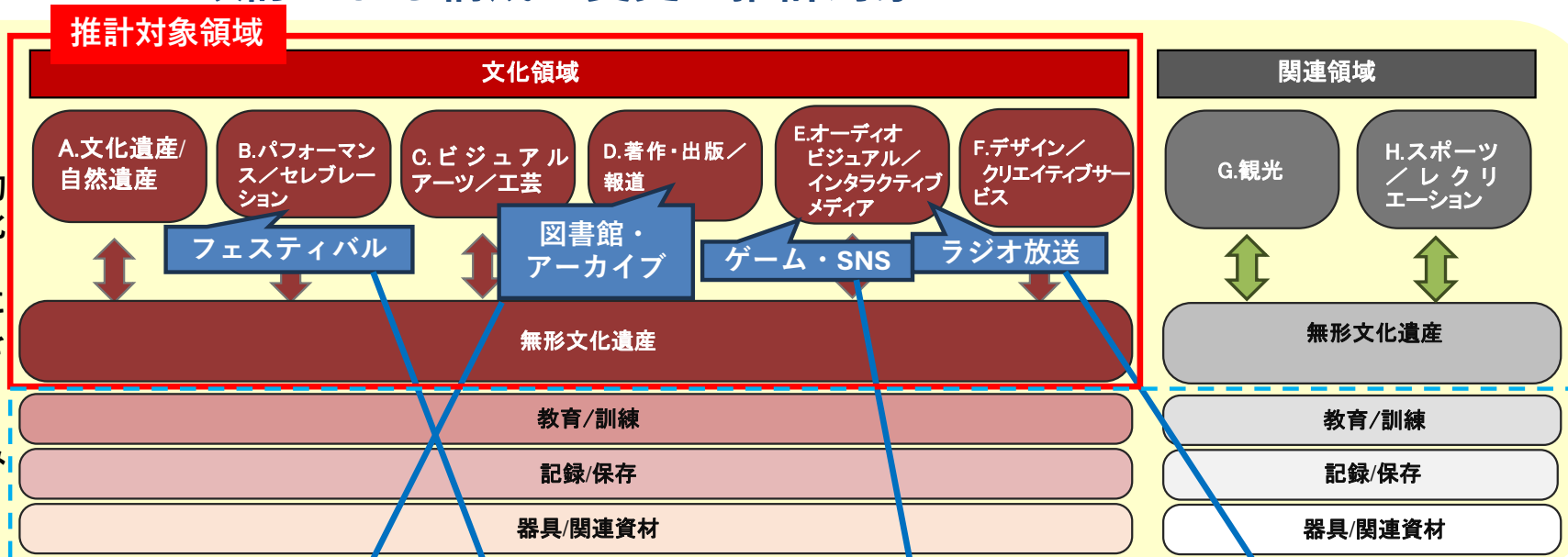
※延長表は基本分類までの区分であるため、2020年産業連関表（細品目）から抽出した文化商品（生産物）の生産額構成比を用い、2021年基本分類生産額を按分して文化商品の国内生産額を推計した。

4

FCS2025の改訂による構成の変更と推計対象 (報告書5P)

FCS2009

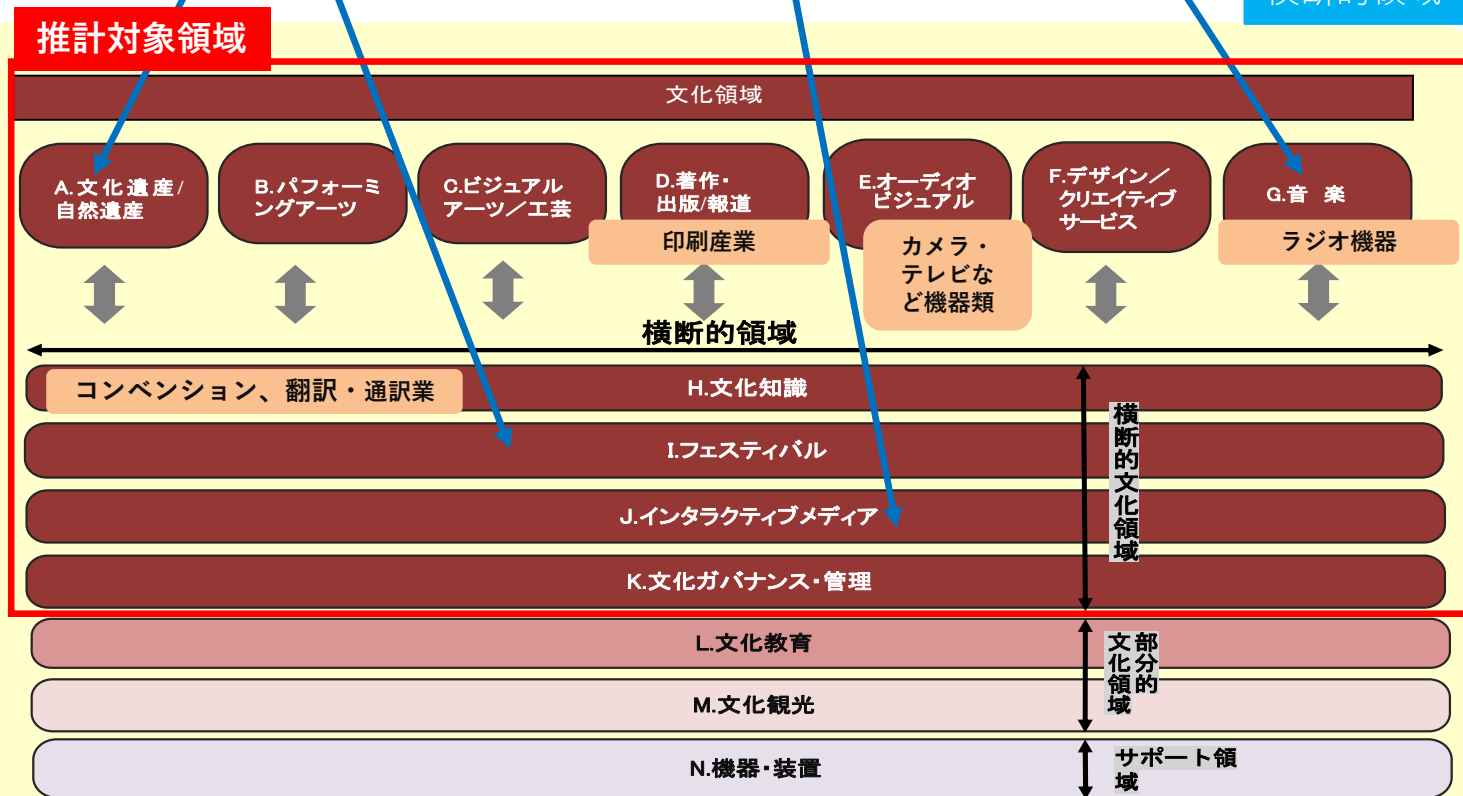
文化に関わる中心的な領域である「文化領域」、文化の生産と伝達において重要な役割を果たす領域である「横断的領域」、部分的に文化的とみなされる「関連領域」から構成



改訂

FCS2025

文化に関わる中心的な領域である「文化領域」と「横断的文化領域」、一部が文化領域である「部分的文化領域」、文化活動の機器・補助資料等の「サポート領域」から構成

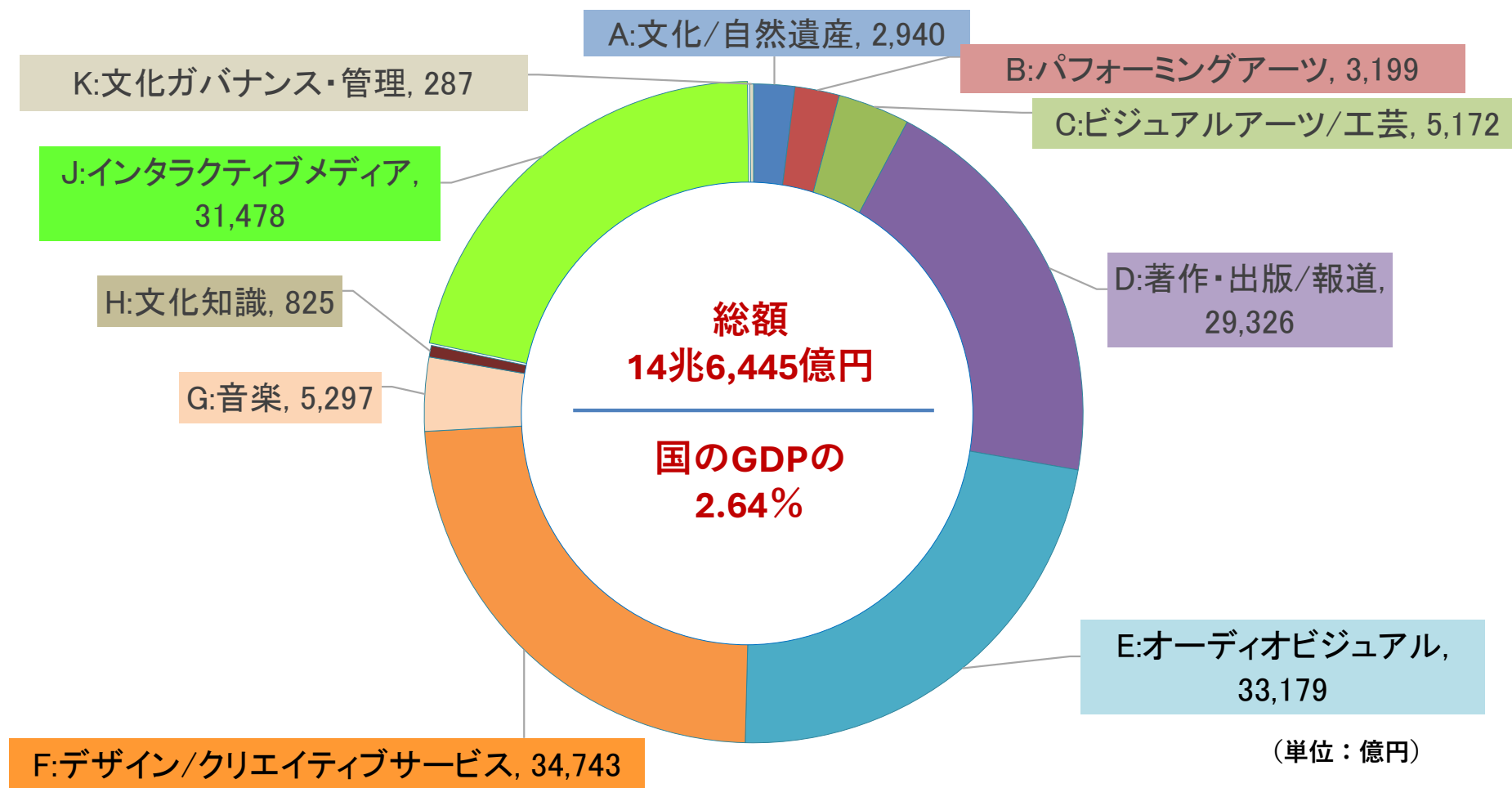


5

日本の2020年文化GDP推計（FCS2025準拠）

（報告書15P）

5-1 規模と構成

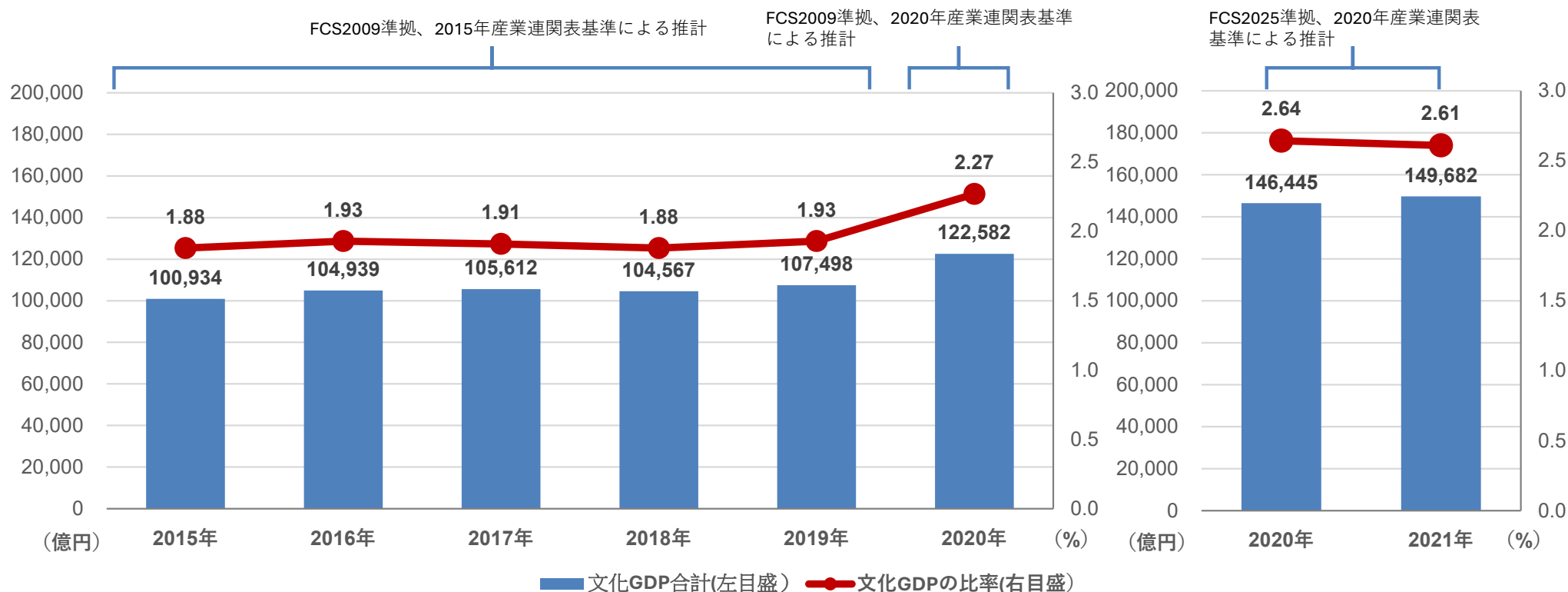


※2020年産業連関表（総務省他）を用いて推計。

※「ドメインI.フェスティバル」は我が国の適切なデータがないため未計上。

※端数を四捨五入しているため、数値の合計、乗じた結果などが記載している数値と一致しない場合がある。

5-2 文化GDPの推移（2015年～2021年）名目値



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 (2015年産業 連関表基準)	2020年 (2020年産業 連関表基準)	2020年* (FCS2025 準拠)	2021年* (FCS2025 準拠)
国全体の GDP (国内総生産) (単位：億円)	5,380,323	5,443,646	5,530,730	5,566,301	5,579,108	5,398,082	5,398,082	5,540,744	5,735,688
文化GDP (単位：億円)	100,934	104,939	105,612	104,567	107,498	103,485	122,582	146,445	149,682
国全体に対する比率 (単位：%)	1.88	1.93	1.91	1.88	1.93	1.92	2.27	2.64	2.61

※2020年（2020年産業連関表基準）の推計は2020年産業連関表をもとに行った。2015年の推計は2015年産業連関表を、2016～2020年（2015年産業連関表基準）の推計は2015年産業連関表基準の延長産業連関表をもとに行った。基準とする枠組みが異なり、過年度との単純比較が難しいことから、参考値として2020年の数値は2015年産業連関表基準と2020年産業連関表基準を併記している。なお、これらはFCS2009に準拠した推計値である。

※2020年（2015年産業連関表基準）の推計値には、推計対象を追加した分を含んでいる。

※2020年（2020年産業連関表基準）の数値には、今回新たに追加された「娯楽作品の原本」分として、付加価値3,813億円を含む。新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により対2019年比で減少している。

※2020年*及び2021年*は、FCS2025に準拠し2020年産業連関表を用いて推計した。国全体のGDP(国内総生産)は、令和6年度の2020年基準改定値の2020暦年及び2021暦年の数値を用いている。

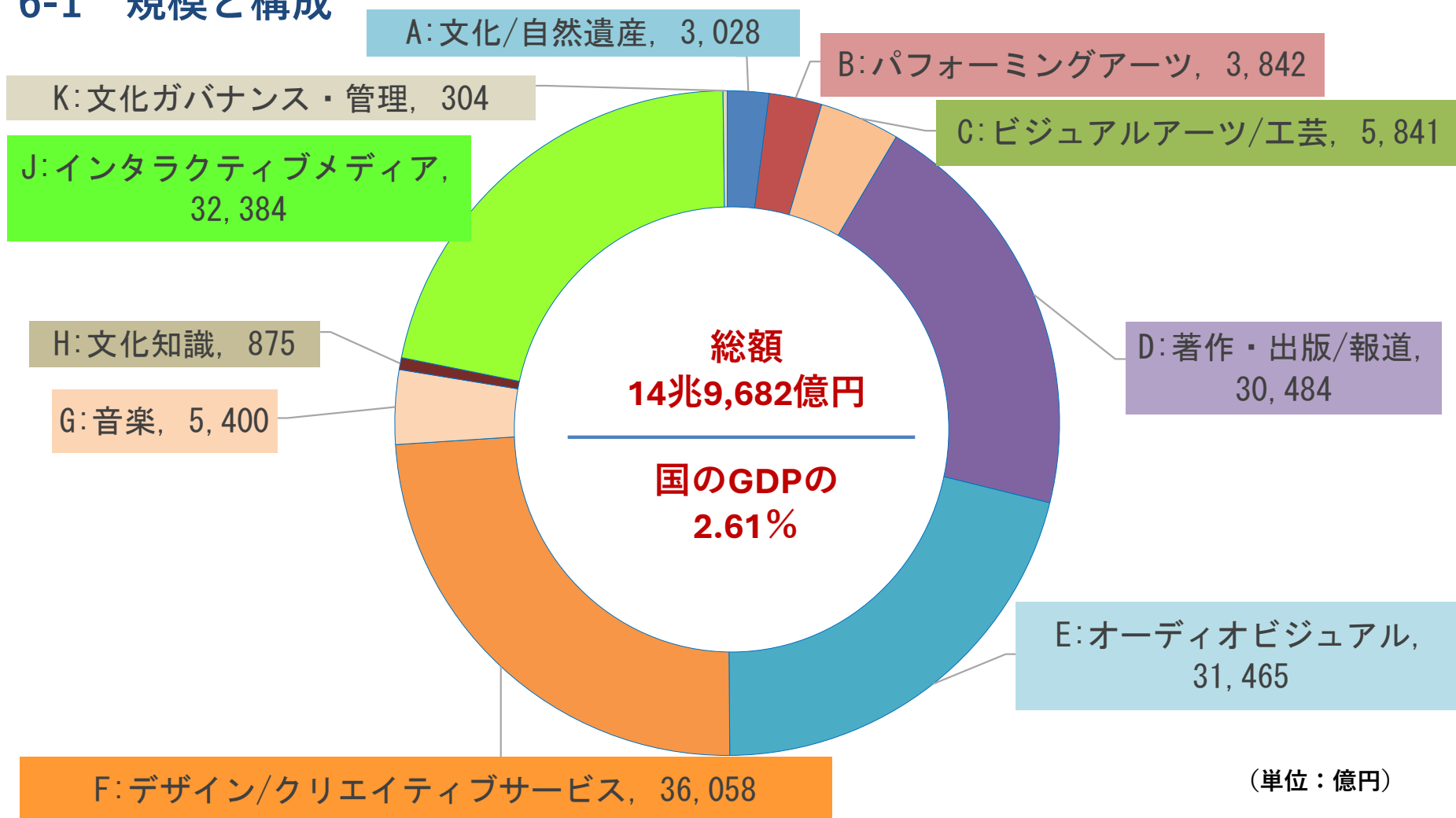
※端数を四捨五入しているので、数値の合計、乗じた結果などが記載している数値と一致しない場合がある。

6

日本の2021年度文化GDP推計（FCS2025準拠）

（報告書32P）

6-1 規模と構成



※2021年延長産業連関表（経済産業省）を用いて推計。

※「ドメインI.フェスティバル」は我が国の適切なデータがないため未計上。

※端数を四捨五入しているため、数値の合計、乗じた結果などが記載している数値と一致しない場合がある。

6-2 各ドメインの文化GDP（2020年・2021年）名目値・FCS2025準拠

（報告書33P）

ドメイン	2020年	2021年	増減	増減率
	付加価値額a （億円）	付加価値額b （億円）	c=(b-a)	c/a×100
A:文化/自然遺産	2,940	3,028	89	3.0%
B:パフォーミングアーツ	3,199	3,842	643	20.1%
C:ビジュアルアーツ/工芸	5,172	5,841	669	12.9%
D:著作・出版/報道	29,326	30,484	1,158	3.9%
E:オーディオビジュアル	33,179	31,465	−1,714	−5.2%
F:デザイン/クリエイティブサービス	34,743	36,058	1,315	3.8%
G:音楽	5,297	5,400	102	1.9%
H:文化知識	825	875	50	6.1%
I:フェスティバル	（未計上）			
J:インタラクティブメディア	31,478	32,384	906	2.9%
K:文化ガバナンス・管理	287	304	17	6.1%
合計	146,445	149,682	3,237	2.2%

※端数を四捨五入しているため、数値の合計、乗じた結果などが記載している数値と一致しない場合がある。